



平成27年度第1回FD研究会 工学教育のあり方を問う  
シンポジウム「超高齢社会における工学技術の新たな展開」を開催

名古屋工業大学では、ファカルティ・デベロップメント(FD)の取組みとして、公開シンポジウム「超高齢社会における工学技術の新たな展開」を開催します。ユーザー参加型デザイン（福祉機器の開発現場では既に取り入れられているユーザーがコンセプト設計の段階から開発に関与することで大きな制約条件の見落としを防ぐ）と、プロデュース・デザイン（今あるものの価値を可視化させることで、それらを活性化させる）を中心に議論を展開します。

名古屋工業大学では、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的なファカルティ・デベロップメントの取組みを積極的に行っています。今回のシンポジウムでは、ご自身も電動車椅子ユーザーであり、研究者・当事者双方の立場から自立支援に取り組んでおられる国立障害者リハビリテーションセンター 福祉機器開発室長 硯川潤氏と、建築、インテリア、家具のデザインやデザインを活かしたブランド戦略を实践、また、行政・企業・市民が連携する街づくりにも精力的に取り組んでいる本学 建築・デザイン工学科准教授 伊藤孝紀が講師をつとめます。両者の講演のあと、司会者を交えて、「超高齢社会における工学技術」についてご質問やご意見を頂きます。

今回のシンポジウムでは工学教育に限らず、広く「超高齢化社会におけるさまざまな課題にどう対処すべきか」についてご関心のある企業、行政、一般の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成27年7月24日（金）15：00～16：30

場所：名古屋工業大学4号館1階ホール ※参加費無料、事前申込不要

内容：講演 硯川潤氏（国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発室長）  
講演 伊藤孝紀氏（名古屋工業大学工学部建築・デザイン工学科・准教授）  
質疑応答

本件へのお問い合わせ：

国立大学法人名古屋工業大学 工学教育総合センター・教授 大貫 徹

TEL：052-735-5181 E-mail: ohnuki.tohru@nitech.ac.jp